環境ふくい推進協議会事業報告

福井県環境アドバイザー制度との協調

福井県環境アドバイザー制度とは？？

福井県では、各種団体や地域のグループなどが開催する環境に関する学習会等に、講師として「福井県環境アドバイザー」を派遣しています。

この制度は、県民の環境保全に関する理解を深めるとともに、地域における環境保全活動を推進することを目的として、平成６年に設置されました。現在、環境汚染、エコライフ、フィールド活動など８分野５６名のアドバイザーが登録されています。アドバイザーに対する謝金及び旅費については、県が予算の範囲内で負担しています。年２０件程度の派遣要請があり、参加された方々からは毎回ご好評をいただいております。

環境ふくい推進協議会はどのように関わっているの？

環境ふくい推進協議会では、県と協調して、当協議会の会員企業が、「福井県環境アドバイザー制度」を利用する際に、講師派遣にかかる費用を助成しています。
そこで今回は、去る６月２０日に会員企業であるＮＥＣセミコンダクターズ関西㈱福井工場（坂井市）で開催された学習会の様子などをご紹介します。

ＮＥＣセミコンダクターズ関西㈱福井工場は、６月の環境月間にあわせて、社員の環境問題への意識啓発につなげようと、環境講演会を開催しました。『楽しくかっこよく、少し真面目に』をテーマに、福井文化服装学院校長の朝日恵子さんをお招きし、「消費は美徳から節約の時代へ」、「節約が作り出した理想像」、「２１世紀の光と影」、「クールビズのこれから」の４つの視点から講演していただきました。

参加したのは経営層から一般社員まで、年代もさまざまな８５名。約１時間半の講演を、社員の皆さんは真剣に聴き入っていました。ファッションを通じた環境に関するお話で、いつもとは違った観点から環境を考えるよい機会になったようです。

福井県環境アドバイザー制度をご活用ください！！

- 講師の派遣を希望される方や制度についての詳細を知りたい方は、まず県環境政策課までご連絡ください。また、福井県環境政策課のホームページでも、アドバイザーの名簿や制度の概要などを掲載しております。
- 環境ふくい推進協議会会員企業におかれましては、当協議会の助成制度をご利用いただけますので、事務局（県環境政策課内）までご相談ください。なお、助成は原則として当該年度において１企業につき１回であり、本制度の目的に合わない研修会等には助成しないことがあります。環境ふくい推進協議会のホームページでも、内容をご案内しております。

お問合せ先

福井県安全環境部環境政策課
TEL：0776-20-0301、FAX：0776-20-0679
E-mail：kankyou@pref.fukui.lg.jp
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kankyou/kankyou3.html

会員企業助成制度のお問合せ先

環境ふくい推進協議会事務局（福井県安全環境部環境政策課内）
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：http://www.erc.pref.fukui.jp/eco/kfs/ad/ad.html

事務局からの重要なお知らせ

新「福井県環境基本計画」推進に向け、県民会議の設置を県環境審が答申！！

「環境ふくい推進協議会」は、平成６年に、環境保全活動にかかる個人・団体・企業のネットワークづくりと地域に根ざした活動団体の育成、継続的で着実な環境保全活動の推進を目的として設立され、１４年が経過しました。

本協議会では、これまで、環境保全活動普及のため、シンポジウムの開催や情報誌による情報提供などの事業を実施してきました。その結果、環境を守り育てることが大切だという意識は広まりましたが、県民一人ひとりが行動を起こすところまでには、あと一歩というところではないでしょうか。

６月の総会においてご説明いたしましたが、福井県は、今秋を目途に新しい**「福井県環境基本計画」**を策定することとしており、去る９月１０日に福井県環境審議会から答申を得ています。

答申では、県民一人ひとりが率先して省資源・省エネ型のライフスタイルに改めるとともに、多様な生物がにぎわう豊かな自然の保全活用に向けた活動を県民総ぐるみで進め、美しい環境を次の世代に引き継ぐことを目指しています。

また、新計画を推進するため、県民、事業者、各種団体、行政の各主体が共に環境保全活動に取り組む新たな県民運動を展開することにしており、県民運動の推進母体として、各主体で構成する**「環境ふくい県民会議（仮称）」**を設置することが提案されています。

したがいまして、今後はこれまで以上に県民が一体となって環境保全活動を推進していく必要があり、そのための組織として、新たに「県民会議」が設立されることになりますので、同じ環境保全活動の推進を目的としている本協議会のあり方についても検討していかなければなりません。

今後、協議会の役員会および企画委員会を中心として検討していくことになると考えておりますので、会員の皆様にもご理解をいただきますようよろしくお願いいたします。

答申の内容については、
県環境政策課のホームページから閲覧できます↓↓
http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kankyou/index.html

ふくい環境シンポジウム　「わがまち LOVE・アース」コンテスト

地球温暖化防止ために何ができるの？みんなで考えてみませんか？

開催します

日時 平成 20 年 11 月 20 日（木）
13：30～16：40

場所 福井商工会議所ビル
コンベンションホール
（福井市木田 2－8－1）

内容
○環境ふくい推進協議会会長表彰
○「わがまち LOVE・アース」ノミネート団体の活動報告および表彰式
○講演「地域でできる温暖化対策（仮題）」
講師：福井大学大学院工学研究科　川本義海　准教授

入場無料です

読者の窓

みんなのかんきょう第５５号に対するたくさんのお葉書、お手紙ありがとうございました。紙面の関係上、全部を掲載できなかったことをお詫びいたします。今後とも、より良い情報紙とするため、みなさまのお便りをお待ちしております。

私　達の活動紹介を読んで、中学生・小学生が環境に目を向けた自分達にできることへの挑戦、活動をすばらしく感じました。小さなときから、自然＝環境を大切にすることを我が子達にも少しずつ教えることの大切さを感じています。～環境行動は一人の百歩より百人の一歩から～。
（敦賀市　Uさん）

里　山・森林の荒廃が著しいので来年の全国植樹祭を契機に、産業材の育成だけでなく、しい、ぶな、けやきなど生き物（動物、鳥）を育む森づくりに力を入れるとよいと思います。
（福井市　Tさん）

長　生きできる木の空間、なるほど…と思いました。木は私達がこの世に生まれる前から代々生きていたもので、地球の財産です。大切な木を守り、木と暮らしていきたい…そう思います。家では、ドングリやもみじの木を、種から育てています。
（越前市　Tさん）

間　伐材を利用した木工教室に参加したことがあります。そこで森林の大切さを知ることができた楽しい紙芝居を見せていただきました。森は水を貯えるなど、子どもにもわかりやすくとても勉強になりました。
（勝山市　Tさん）